

所沢市立椿峰小学校 学校だより



つばき

令和3年4月30日発行 第2号 文責：校長 丸山 譲

所沢市立椿峰小学校
〒359-1146
所沢市小手指南5-20-1
TEL:04-2948-6601
FAX:04-2948-6602

学力・学習状況調査について

新年度を迎え、早くも1か月が経とうとしています。明日からは、いよいよ5月です。何をやるにしても意欲が湧いてくる新緑の季節です。ここまで1か月間、学校には、毎日子どもたちの元気な声が響き渡っています。日々の授業にも意欲的に取り組んでいます。

さて、5月15日、埼玉県学力・学習状況調査が4～6年生に実施されます。5月27日には、6年生対象に全国学力・学習状況調査が実施されます。埼玉県及び全国の調査結果は、8月以降に返却される予定です。

全国の調査は、平成19年度に始まりました。回数を重ねるごとに、調査結果が新聞などのマスコミで取り上げられ、都道府県の順位のことばかりが先走りしている感が否めません。大切なことは、調査を通して、各個人が、自らの課題を知り、その克服に向けて努力することです。埼玉県の調査では、子どもたちが自分の実力を知り、「どれだけ自分が伸びたか」を実感し、自信を深めていくことを大切にするというねらいがあります。このとき、ご家庭が大きな役割を果たすという事実は周知のことです。同時に、われわれ教師は、指導の在り方を見直し、「わかった、できた、またやりたい」と実感できる授業づくりのために研鑽に努めなくてはなりません。

以前、この調査結果に絡め、気にとめた新聞記事がありました。それは、ある県の結果が、学習面だけでなく、体力面でも好成績を収めたというものです。両面で高い値を示している背景を調べてみると、当たり前のことを当たり前でできる力が身に付いていることが大きな要因のようです。たとえば、「先生の話をしっかり聞く」「宿題をきちんとやってくる」「友達と仲良くする」などです。

私が、学校生活のなかで着目している3つの態度があります。「あいさつや返事が大きな声でできる」、「登校時間など時間を守ることができる」、「身のまわりの整理整頓ができる」の3点です。どれも当たり前のことであり、今も昔も変わらぬ生活の基本となる態度です。これらは、全ての行動の指針であると考えます。子どもたち一人一人が、やるべきことを自覚し、どこかで知的好奇心を刺激させながら学習することを楽しみ、新たな1年を元気よく過ごしてほしいと願っています。

